



★★特集★★ 吉川市議会の知っ得!

議会へようこそ!



交流編

高校生が議会を体験!

公職選挙法の改正により、選挙権が20歳以上から18歳以上へと引き下げられました。若い世代の人たちに政治、まちづくりを身近に感じていただきたいと思い、6月20日（水）に吉川美南高等学校の生徒14名をお招きし、議員への質問や対談を通じて、議場の雰囲気をあじわっていただきました。



新庁舎に到着してすぐ、庁舎整備担当職員より新庁舎の説明を受けました。設備の面だけでなく、財政面からもどういった経緯で完成を迎えたかという話にみなさん真剣に耳を傾けていました。



その後、議場において、中原市長、中嶋議長にご挨拶をいただきました。それぞれのご挨拶の中で「二元代表制」と「一票の持つ力」について触れられました。その重みをご理解いただけたのではないのでしょうか。



議会事務局職員より議場の紹介をしました。傍聴席の車いすスペース、採決システム、情報公開のための撮影・配信システムの説明と併せて、この議場で意思決定がされていることをお話しました。

市議会議員に聞いてみたいこととして事前いただいたご質問に対し、広報委員会所属の市議会議員が答弁をしました。演壇に登壇して発言、本会議の疑似体験をしていただきました。



2グループに分かれ、委員会室へ移動し対談。議員活動への質問が多く感じられました。対談を通し、議員や政治が遠いものではなく、身近なものと感じていただけるようお答えしました。



交流事業を終えた生徒から「市民の声が、選挙や議員活動を通して反映されていることを知った」という感想や、「自分も市民の一人としてがんばっていきたい」という心強い意見をいただきました。市政や議会について関心を持っていただけたらうれしい限りです。みなさんの今後に期待しています!

☆吉川美南高校と地域の連携事業の一部をご紹介します☆

●主権者教育

吉川市選挙管理委員会との協働により、吉川美南高校の生徒がボランティアとして選挙事務に協力してくれました。これまでに延べ53人の生徒が参加してくれました。

また、平成28年1月の吉川市議会議員選挙に合わせ、吉川青年会議所主催による実際の候補者名を使用した模擬選挙に54名の生徒が参加しました。本物の記載台と投票箱を使用し、実際の選挙公報から情報を得て、より現実に近い形で投票を体験しました。

●芸術文化振興に参画

埼玉県教育局は「学校地域WIN-WINプロジェクト」を今年度から開始し、県内から実践研究校として5校を選定、そのひとつに吉川美南高校が選ばれました。地域の力と学校が連携し、生徒たちが実社会からの学びを得ることと、学校の力を地域に活かす事業です。吉川市が推進していく芸術文化振興に吉川美南高校が参画していく予定です。